

特集 重層事業と地域共生社会をめざす福祉教育

巻頭言/永田 祐

アプローチ1 実践に活かす方途を見いだす

●論考・調査・報告

- ①参加支援と地域づくりの結節点としての福祉教育の意義
/川島ゆり子
- ②地域の担い手と重層事業/上野山裕士
- ③教育と福祉の連携によって誰も置き去りしない地域へ
/菱沼幹男
- ④福祉教育の理念と実践を重層事業に生かす/渋谷篤男

アプローチ2 導入のヒントを得る

◆実践事例

- ①半田中学校区における実践型ふくし教育の取組
～多機関連携会議による実践型ふくし共有～/加藤 恵
- ②地域の課題解決に向けたつながりづくり～和歌山市社協が
取り組む重層的支援体制整備事業～/田中ひとみ・左巴誠人
- ③子どもの地域活動への参加から考える～総合支援の地域拠点
「ふくしあ」を活かした取組～/前田 綾
- ④氷見市の重層事業における地域づくりと福祉教育の関係
～支えながら主体性を高め、支援の輪を広げる地域づくり
実践～/森脇俊二

◆NPO/社会福祉法人の挑戦

- ①みんなごさ〜れ！高校とつながる共生のまちづくり/吉田 理
- ②愛徳園が行う地域貢献活動/南部 光

アプローチ3 学校現場のリアルを可視化する

■わたしの指導案

- ①出会いの工夫で生まれる「福祉」の芽生え/福丸美江
- ②精神障害者のパブリックスティグマ低減に向けた授業
/松本すみ子

■子どもを育む多職種協働

だれも“ひとりぽっち”にしない社会の創造に向けて
～豊中市社会福祉協議会における学校と福祉の連携～
/新崎国広・勝部麗子

■高大連携事業

これまでの高大連携の取組と今後の在り方について/長尾勝恵

アプローチ4 学びの多様性から福祉と教育の接近性を吟味する

◎ふくし原論

今、なぜ、福祉教育・ボランティア学習を推進するのか
/野尻紀恵

◎ふくし最前線

高等学校における福祉教育 これまでの取組とこれからの
福祉系高校～高校時代に福祉を学ぶ意義～矢幅清司

アプローチ5 特集テーマの広がりをつめる

◇図書紹介

- ①東京都社会福祉協議会『重層的支援体制整備事業 実践事例集』
/田村禎章
- ②室田信一ほか『コミュニティ・オーガナイズングの理論と実践』
/秋元みどり
- ③山竹伸二『ひとはなぜ「認められたい」のか』/楠 聖伸
- ④村田和代『優しいコミュニケーション』/渡邊一真

◇イベント・動向

日本福祉教育・ボランティア学習学会第29回新潟大会の話題

アプローチ6 「ふくし」の問いを当事者との対話から深める

□ふくし対話「この人と語る」

福祉が教育する～

共生社会への接点を探す福祉教育～/田村真広・奥山留美子

巻末言/渡邊一真